



## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名	: オルフィン EXP. 4200
化学品の名称	: 界面活性剤組成物
供給者の会社名称	: 日信化学工業株式会社
郵便番号	: 915-0802
住所	: 福井県越前市北府 2-17-33
電話番号	: 0778-22-5100
FAX 番号	: 0778-24-0657
担当部門	: 環境品質管理部品質保証 G
電話番号	: (0778)22-9998
FAX 番号	: (0778)22-9998

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理的危険性	: 爆発物 分類できない
	: 可燃性又は引火性ガス 分類対象外
	: エアゾール 分類できない
	: 支燃性又は酸化性ガス類 分類対象外
	: 高圧ガス 分類対象外
	: 引火性液体 分類できない
	: 可燃性固体 分類対象外
	: 自己反応性化学品 分類できない
	: 自然発火性液体 分類できない
	: 自然発火性固体 分類対象外
	: 自己発熱性化学品 分類できない
	: 水反応可燃性化学品 分類できない
	: 酸化性液体 分類できない
	: 酸化性固体 分類対象外
	: 有機過酸化物 分類できない
	: 金属腐食性物質 分類できない
健康有害性	: 急性毒性(経口) 分類できない

- : 急性毒性(経皮) 分類できない
- : 急性毒性(吸入：気体) 分類できない
- : 急性毒性(吸入：蒸気) 分類できない
- : 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない
- : 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 分類できない
- : 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 1
- : 呼吸器感作性 分類できない
- : 皮膚感作性 分類できない
- : 生殖細胞変異原性 分類できない
- : 発がん性 分類できない
- : 生殖毒性 分類できない
- : 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない
- : 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない
- : 吸引性呼吸器有害性 分類できない
- 環境有害性 : 水生環境有害性(急性) 分類できない
- : 水生環境有害性(長期間) 区分 3
- : オゾン層への有害性 分類できない

絵表示



GHS05

- 注意喚起語 : 危険
- 危険有害性情報 : 重篤な眼の損傷 (H318)  
長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)
- [安全対策] : 環境への放出を避けること。(P273)  
適切な保護手袋,保護衣,保護眼鏡,保護面を着用すること。(P280)
- [応急措置] : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
皮膚に付着した場合、眼に入った場合、飲み込んだ場合、吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。(P310)  
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。(P314)
- [保管] : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
- [廃棄] : 内容物/容器を国際,国,都道府県,市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

- 一般名 : 界面活性剤組成物

名称	濃度	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
界面活性剤 A	< 50%	登録済	既存	登録済
界面活性剤 B	< 50%	登録済	既存	登録済
プロピレングリコール	< 20%	(2)-234	既存	57-55-6
水	< 20%			7732-18-5

#### 4. 応急措置

- 応急措置 一般 : 気分が悪くなったら、医師の診断を受ける（可能ならばラベルを見せる）。安全な所へ移動する。汚染された服や靴を脱ぐ。意識の無い状態では決して口から物を与えない。
- 吸入した場合 : 直ちに被災者を新鮮な空気のところへ移す。呼吸が停止するか困難である場合には人工呼吸を施し、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着した衣類、靴をぬぎ、付着した部分を大量の水や石鹼水を使ってよく洗う。外観に変化が見られたり、痛み、かゆみが出たときは直ちに医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の水でまぶたの内側を20分以上洗い流すこと。コンタクトレンズを外せる場合は外す。医師の診断を受ける、眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよくすすぎ、直ちに医師の診断を受ける、意識が無い場合には、口から何も与えてはならない。嘔吐による窒息を防ぐために、被害者の頭を横向きにすること。

#### 5. 火災時の措置

- 適した消火剤 : 粉末消火器、泡消火剤、炭酸ガス、噴霧水
- 消火を行う者の保護 : 火災時の高温で炭酸ガス、一酸化炭素ガス、煙などが発生するので呼吸用保護具などを着用する。
- 消火時の保護具 : 火災時には、自給式呼吸器と個人保護具を着用する。
- その他の情報 : 化学火災に対する一般的な消火方法を用いる。周りの状況や環境を考慮して、適切な消火器具を用いる。燃烧時等に発生する煙等を吸い込まないようにする。未開封の容器を冷却する時は、容器に散水する。消火剤の混じった水は別途回収する。廃水にこれを放出しない。残渣や消火剤を含んだ水はその地方の法規制に従い処理する。

#### 6. 漏出時の措置

##### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的な措置 : 付近の着火源を取り除き、風上から作業する  
作業時には長靴、手袋、保護眼鏡等の保護具を着用し飛沫等が皮膚に付着したり、ミスト、ガスを吸引しないようにする。

環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川に流入したり、水で流した汚染水が環境に流出しないよう注意する。

#### 封じ込め及び浄化方法及び機材

封じ込め方法 : 砂、シリカゲル等の吸着物質で吸着させる。廃棄用の専用容器に入れる。

浄化方法 : 少量の場合、乾燥砂、土、おがくずなどで覆い、シャベル、箒でかき集め密閉できる容器に回収する  
多量の場合はバキューム等で汲み上げ回収する  
回収後、漏出場所周辺を水で洗浄し、その汚染水も回収する。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消化剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 緊急シャワーや洗眼装置をいつでも利用できるようにしなければならない。

安全取扱注意事項 : 国などが定めた作業方法を遵守する  
低温（5℃以下）では析出物が出来たり、固化する恐れがあるのでそのような場合には温浴で加温、溶融し、よく攪拌し使用する。

接触回避 : 蒸気・ミストの吸入や皮膚、目との接触の恐れのある場合には、適切な保護具を着用する。

### 保管

安全な保管条件 : 冷暗所で密栓保管する。

技術的対策 : 熱源、強酸化剤から離し、換気の良い場所に保管する。

安全な容器包装材料 : 石油缶は水濡れ等により錆びるので濡らさない事。

混触禁止物質 : 強酸化剤（過塩素酸塩、硝酸塩、過酸化物等）、反応性金属（ナトリウム、カルシウム、亜鉛など）、脱水剤

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : データなし

許容濃度(産衛学会) : データなし

許容濃度(ACGIH) : データなし

設備対策 : 十分な性能の一般換気装置及び局所排気装置を設置する  
取り扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

呼吸用保護具 : 緊急時には空気呼吸器  
換気の良い場所で通常の条件下では不要

手の保護具 : 保護手袋（ネオプレンゴム クロロプレンゴム）

眼の保護具 : ゴーグル  
保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具	: 保護衣服: 危険性物質の濃度や作業環境によって、適切な保護衣服を選択する
保護着の材質	: 危険性物質の濃度や作業環境によっては、耐化学薬品性の保護具を使用する。特殊な状況では、メーカーが耐化学薬品専用に指定している保護具を使用する。
環境への暴露の制限と監視	: 表流水や汚水排出系に流れ込まないようにする。安全であれば、更なる流出を防ぐ。製品が川や湖や廃水系を汚染しそうな場合には、都道府県の環境課に連絡する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 液体
外観	: 液体
色	: 琥珀色。透明
臭い	: 独特の臭い
融点	: データなし
沸点	: 112 °C
引火点	: なし (クリーブランド開放式)
蒸発速度 (酢酸ブチル = 1)	: データなし
燃焼性 (固体、気体)	: データなし
爆発範囲 (上限、下限) (g/m <sup>3</sup> )	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度 (20 °C)	: データなし
比重	: ≈ 1.03 (25°C)
n-オクタノール/水分配係数(Log Pow)	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 高温は劣化を促進するので避ける。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と混触すると、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	: 熱,火気
混触危険物質	: 反応性金属(ナトリウム、カルシウム、亜鉛など),強酸化剤 (過塩素酸塩、硝酸塩、過酸化物等),過酸化物,脱水剤,ヒドロキシ化合物と反応する物質
危険有害な分解生成物	: 燃焼時は有害ガス (一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド類) を発生する,強アルカリがある状態で 65°C 以上に加熱すると、可燃性炭化水素残留物質が生成する。

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入:気体)	: データなし
急性毒性 (吸入:蒸気)	: データなし
急性毒性 (吸入:粉末)	: データなし
急性毒性 (吸入:ミスト)	: データなし
LC50 吸入 ラット (mg/l)	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷又は刺激性	: 製品自体の試験データは無いが、以下の区分の眼刺激性物質を含む。区分1：界面活性剤A (<50%) 区分1の濃度限界値は ≥3%。よってこの製品はGHS分類の眼に対する重篤な損傷/眼刺激性区分1に相当する。
皮膚感作性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
有害性その他	: データなし

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	: データなし
水生環境有害性(長期間)	: 製品自体の試験データは無いが、以下の区分の水生環境有害性物質 (長期間) を含む。区分3：界面活性剤A (<50%) 区分3の濃度限界値は ≥25%。よって、この製品はGHS分類の水生環境有害性 (長期間) 区分3に相当する。
生態毒性	: データなし
魚毒性/その他	: データなし
残留性・分解性	: データなし
化学的酸素要求量(COD)	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
その他の情報	: この製品を廃水や水流、そして土壤に流さないこと。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: 国や地方の法律に従い廃棄する。下水に廃棄しない。この物質と容器は有害廃棄物として処理する。家庭のゴミと一緒にしない。
------	--

- 残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄処理業者に委託すること。
- 汚染容器及び包装 : 内容物や包装材料は法律に従い、専門の廃棄物処理業者に処理してもらうこと  
空容器を廃棄する場合は、容器内を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

国連番号 : 非該当

国連分類(UN) : 非該当

### 国内規制

国連番号 : 非該当

国連分類(UN) : 非該当

その他の情報 : 輸送に際しては包装に漏れないことを確かめ、破袋、落下、損傷等がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

化審法 : 優先評価化学物質（法第2条第5項）  
プロピレングリコール (<20%)

労働安全衛生法 : 規制されていない

消防法 : 規制されていない

海洋汚染防止法 : 規制されていない

船舶安全法 : 規制されていない

航空法 : 規制されていない

化学物質排出把握管理促進法（P R T R 法） : 規制されていない

## 16. その他の情報

参考文献 : 引用文献 1. 原料メーカーの「安全データシート」 2. GHS第4版 3. N I T E GHS分類結果

その他の情報 : 本製品は一般工業向けに開発されたものです。特殊な用途へのご使用に際しては、貴社にて安全性をご確認の上ご使用下さい。記載内容は現時点で入手出来る資

料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません

インベントリー情報

国名	化学物質名簿	収載状況	国名	化学物質名簿	収載状況
アメリカ合衆国	TSCA	収載	韓国	KECI	収載
欧州連合 (EU)	EINECS	収載	欧州連合 (EU)	REACH	未登録
カナダ	DSL	収載	中華人民共和国	IECSC	収載
オーストラリア	AICS	収載	フィリピン	PICCS	収載
ニュージーランド	NZIoC	収載	台湾	ECN	収載